



かけはし



第228号 平成28年(2016年) 5月1日(日曜日) 編集発行 宝塚市議会



議場コンサートを
開催しました
詳細は13面

3月定例会の概要

- 一般会計 **782億円**を含む総額 1,628億円余の新年度**予算**を可決
- 鎮魂之碑移設整備費の増額などをめぐり、議論が白熱
平成27年度一般会計補正予算を**修正可決**



平成28年度

一般会計・特別会計

782億円

517億円余

予算を可決

付帯決議を可決し、議会の意思を表明
(予算特別委員会)



宝塚ガーデンフィールズ跡地

平成28年度一般会計

歳入歳出の款別構成比

市役所隣接のNTN(株)宝塚製作所跡地

議案第1号平成28年度宝塚市一般会計予算に対する附帯決議

本市の財政状況は厳しく今後3年間で34億円余の財源不足が見込まれ、平成28年度予算は財政調整基金のとりくずしによって編成されている。そのような中で一般会計当初予算案は総額782億円、前年度を49億円上回る近年にない大型予算となっている。

平成26年度決算審査意見書にあるとおり、NTN株式会社宝塚製作所跡地・宝塚ガーデンフィールズ跡地の利活用や中央公民館整備などの事業は、市民生活の向上、都市イメージの形成やコミュニティの活性化につながる一方、今後、少子高齢化、税収の低下、扶助費の増加や公共インフラの維持管理などの課題を乗り越えるには、公正で、効果的、効率的な事務執行が求められている。

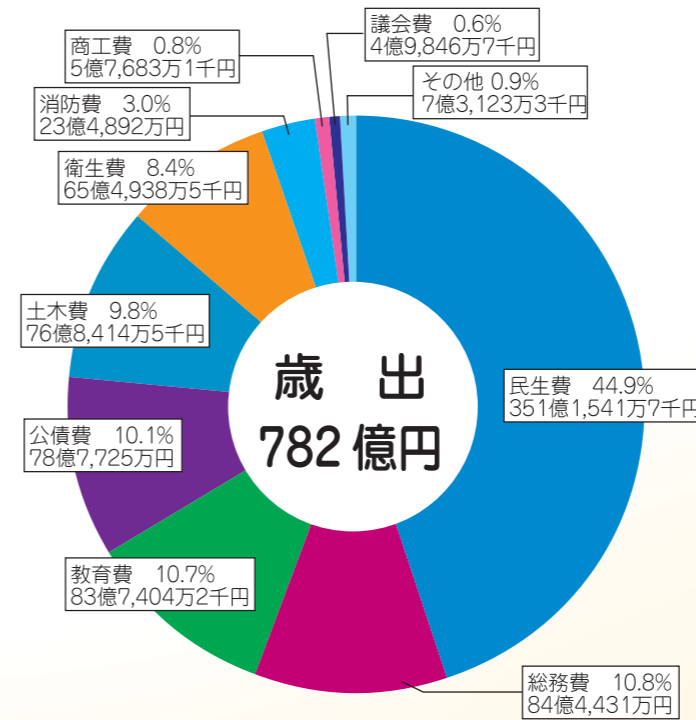
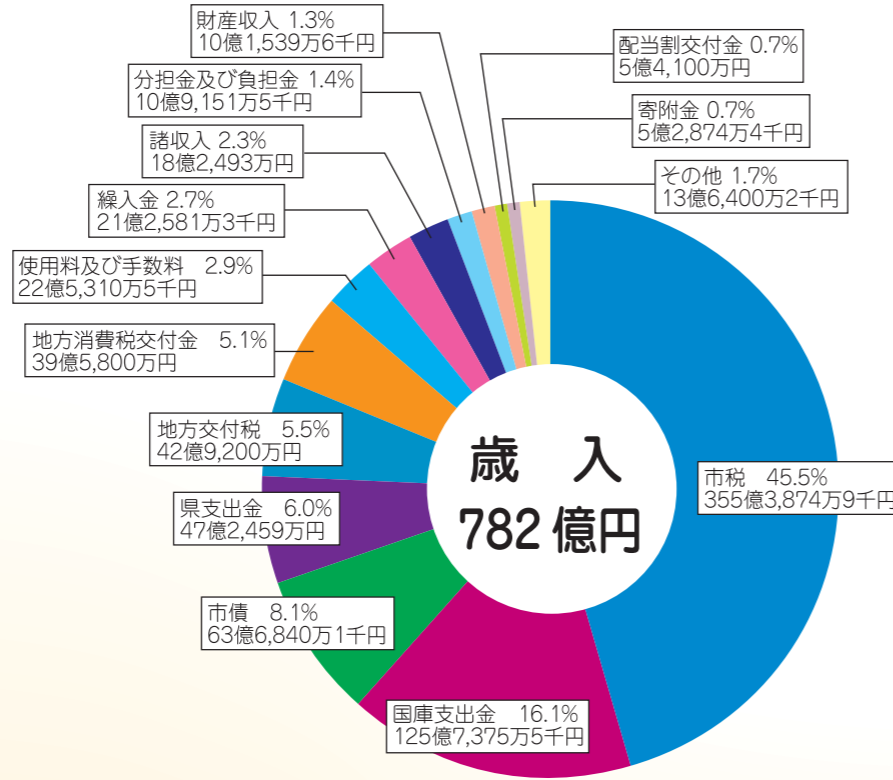
市長は、総合計画に定める本市の将来都市像「市民の力が輝く 共生のまち 宝塚」を実現するため、市政運営の基本方針に沿って平成28年度予算を編成されているが、その一部事業については、その執行に当たり意見を申し上げざるを得ない。

まず、NTN株式会社宝塚製作所跡地や宝塚ガーデンフィールズ跡地の利活用など大型施設の建設については、本市が置かれている厳しい財政状況に鑑み、ただ漫然と事業展開を急ぐべきではなく、事業の必要性や予算措置など慎重に検討すべきである。未来を担う若い世代に、その負担を押し付けるのではなく、事業の進捗調整を含め十分な備えをしたうえで事業に着手するよう求めるものである。

次に、(仮称)栄町3丁目公園整備事業について、公園の整備に当たり土地所有者と20年を期間とする賃貸借契約を締結し、期間満了後は所有者に返還する計画となっている。同公園には防災拠点としての機能も合わせて整備される予定であり、今後20年を経過したときには、地域にとって欠くことのできない存在となっていると考えられ、その公園を廃止することは地域に大きな混乱を生み出すと見られる。そもそも公園は永続性を求められる公共施設であり、期間を区切って整備するものではない。本事業の必要性は理解するが、土地所有者との交渉に当たっては、有償の賃貸借だけでなく様々な手法を検討すべきである。また、賃貸借による公園整備のあり方については、市としての基準を定めて運用すべきである。そこで、本事業の執行に当たっては事前に議会への報告を行い、議会との議論を経て決定するよう求めるものである。

最後に、性的マイノリティに寄り添うまちづくりの取組について、本事業は、性の多様性を理解し、誰もが「ありのままに」安心して自分らしく「過ごせる、そんな、誰もが生きやすい社会をめざし、性的マイノリティの方々への理解と支援を行うことである。本事業の趣旨は理解するが、性的マイノリティに対する市民の理解は様々な課題解決には、市民などの意見を十分に考慮し議論を深めることが重要である。そこで、本事業の執行に当たっては事前に議会への報告を行い、議会との議論を経て決定するよう求めるものである。

以上、決議する。



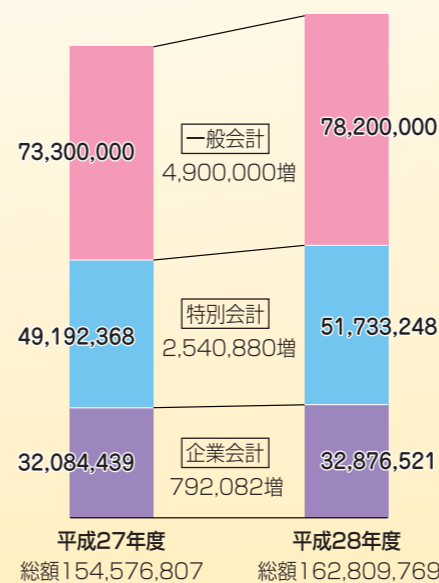
各会計別歳入歳出予算額の概要 (単位:千円)

会計別	平成28年度	平成27年度	増減額	増減比(%)	審議結果
一般会計(A)	78,200,000	73,300,000	4,900,000	6.7	可決(全員一致)
特別会計(B)	51,733,248	49,192,368	2,540,880	5.2	-
国民健康保険事業費	28,469,200	27,441,700	1,027,500	3.7	可決(賛成多数)
国民健康保険診療施設費	121,400	123,200	△1,800	△1.5	可決(全員一致)
農業共済事業費	113,700	108,000	5,700	5.3	可決(全員一致)
介護保険事業費	18,807,800	17,706,700	1,101,100	6.2	可決(全員一致)
後期高齢者医療事業費	3,747,300	3,367,500	379,800	11.3	可決(賛成多数)
財産区(9件)	91,836	91,046	790	0.9	可決(全員一致)
宝塚すみれ墓苑事業費	382,012	354,222	27,790	7.8	可決(全員一致)
計(A+B)	129,933,248	122,492,368	7,440,880	6.1	-

本会議で賛成多数となった予算の各議員の賛否(賛成=○、反対=×) ※議長は表決に加わりません。

会派名	新風改革・維新の会				自民党議員団		公明党議員団		日本共産党宝塚市会議員団		とも生きる市民の会	市民ネット宝塚	安全で訪れる宝塚をつくる会											
議員名	伊藤順一	浅谷亜紀	岩佐裕之	大川裕之	若江まさし	山本敬子	大河内茂太	富川晃太郎	江原和明	中野和枝	藤岡浩二	たぶち静子	田中こう	となき正勝	みとみ稔之	井上聖	大島淡紅子	梶川みさお	寺本早苗	石倉加代子	北野聡子	北山照昭	細川知子	
国民健康保険事業費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療事業費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

予算規模の比較(単位:千円)



また、財政調整基金を初め、基金残高が減少していることについて確認したところ、このままでは本市の将来が心配される。再度、行財政改革にしっかりと取り組み、今後3年間の財源不足に対応し、基金を積み立てていきたいとのことである。



予算特別委員会委員 (○委員長○副委員長) 左から富川晃太郎、大河内茂太、岩佐将志、浅谷亜紀、北野聡子、井上 聖、大川裕之、江原和明、三宅浩二、細川知子、みとみ稔之、田中こう

予算審議の概要

市長から提案された平成28年度の予算案は、一般会計については、歳入歳出総額それぞれ782億円、前年度比で約6.7%、49億円の増額。15件の特別会計については、歳入歳出の合計額それぞれ517億3324万8千円、前年度比で約5.2%、25億4088万円の増額。企業会計32億7652万1千円もあわせると総額162億8097万6千円となり、近年

市議会では、企業会計について、担当する常任委員会で審議するとともに、一般会計と特別会計については、予算特別委員会を設置

なお、一般会計の予算編成においては、国の地方財政対策等を踏まえ適切な財源措置を行い、安全・安心福祉、教育・子育てに係る施策の予算を増額したとのことでした。

18日の5日間で詳細な審議を行いました。

また、委員会で確認している内容は、各予算案を可決するとともに、一般会計予算に対する附帯決議を全員一致で可決し、議会の意思を表明しました。

新風改革・

維新の会

5面

- ・行財政改革
- ・財務諸表の整備
- ・性的マイノリティ
- ・ソーシャルビジネス

自民党議員団

5面

- ・これからの都市経営
- ・教育・子ども・人権
- ・宝塚市消防サポート隊
- ・新ごみ処理施設の整備

公明党議員団

6面

- ・財源確保について
- ・宝塚市教育大綱
- ・小・中学校の適正規模
- ・学校給食の公会計化

代表質問

代表質問とは、市長の施政方針の演説に対し、市議会がその内容や考え方をチェックし、市長の市政運営への姿勢を問いたたずものです。

本定例会では、2月25日、26日の2日間、各会派を代表する7人の議員が代表質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。概要は、5面から8面に掲載しています。

安全で誇れる宝塚をつくる会

8面

- ・平成28年度当初予算編成について
- ・上下水道事業について

市民ネット宝塚

7面

- ・福祉施策
- ・3歳児保育
- ・がん治療センター
- ・新中央公民館
- ・観光・文化

日本共産党

宝塚市会議員団

6面

- ・国民健康保険税
- ・地域児童育成会会の入所憲法9条を守る
- ・西谷地域の活性化
- ・防災行政無線の整備

ともに生きる市民の会

市民の会

7面

- ・宝塚市の人事管理
- ・障害者差別解消法施行
- ・放課後児童健全育成事業

施政方針

1年間の市政運営に関する設計図で、基本方針と主要な施策が述べられています。市長から3月定例会で示され、その方針に沿って平成28年度予算が提案されました。

3 未来への希望と躍動に満ちたまち

宝塚ガーデンフィールズやNTN(株)宝塚製作所の跡地整備と新名神高速道路サービスエリアなどの完成により、本市の主役である市民が躍動できる場が次々と誕生する。各種産業の振興を図り、まちの活力を創出していく。

・せいかつ応援センターの相談支援体制を充実

・障がい者差別の相談窓口を開設

・がん治療センターを整備

4 教育・子ども・人権

・市立学校の適正規模、適正配置の取り組みを推進

・学校図書館司書を拡充

・学校給食費の公会計化

・新中央公民館整備に着手

・同性パートナーを尊重する仕組みづくりを推進

5 環境

・栄町3丁目に防災拠点機能を備えた公園を整備

・公共建築物への再生可能エネルギー導入ガイドラインを策定

6 観光・文化・産業

・宝塚ガーデンフィールズ跡地に文化芸術施設などを整備

・観光農業施設への大型バス対応の駐車場整備補助金を新設

・ソーシャルビジネス・スタートアップ講座を開講

・清荒神参道空き店舗への出店者に改装費を補助

・地元の農産品を使った物産品の開発を支援

市政運営の基本方針(抜粋)

いのちをまもり

さずながさえる

輝ける未来の宝塚市へ向かう「躍動元年」

1 安全で安心して暮らせるまち

災害への対策の強化を図り、行政の防災体制を充実させるとともに、自らが災害に備え、自らの命は自分で守る自助、地域で助け合う共助の取り組みを進め、防災力を高める。

2 子育てと教育が誇れるまち

子育て世代に魅力的なまちとして市民が満足し、市外の人から住んでみたいと思われるよう、子どもたちの歓声がまちのあちこちで聞こえる、子育てと教育が誇れるまちづくりに努める。

3 健康・福祉

・競馬場高丸線事業に着手

・公共下水道事業認可区域に雨水排水施設を整備

・妊産婦や家族への専門相談及び一般相談を開始

・エイジフレンドリーシティの行動計画を策定

甘い財政見直しへの責任は 問題を先送りせず対応する

新風改革・維新の会

伊藤 順一

費比率など財政指標は改善。予算編成に合わせ、行革に重点的取組項目を定め、問題を先送りせず、対応する。

【財務諸表の整備】

問 統一的な基準による財務諸表整備の効果は。

答 行政コストや資産・負債のストック情報を体系的に把握できる。事業別・施設別に作成することで事業別・施設別の行政コストや施設別の老朽化比率の把握が可能。予算編成、事業の見直しや公共施設のマネジメントに活用できる。

問 事務事業は拡充しているが廃止・縮小が進まず予算は膨張。見直しには受益者の抵抗はあるが、理解を求めるとは事業別財務諸表が欠かせないのでは。

答 平成29年に開始貸借対照表、再来年に財務諸表を作成。事業別財務諸表は次の課題と認識しているが、引き続き検討する。

意見 事業が時代に合っているか、いくら支出できるかを判断する材料がないと見直しはできない。作成体制の整備を急ぐべき。

問 新規事業は27億円の範囲内とする中で一定の財政規律の保持に努め、公債

【性的マイノリティ】 市民の中に賛否意見

【行財政改革】 平成30年度までの財源不足額は、昨年10月の財政見直しでは約12億円であったのが、本年2月では約45億円に膨れ上がっている。その理由は。

答 昨年には見込んでいなかった病院事業、国保事業や下水道事業の収支状況が明らかとなり、市の財政支援の方針を決定したことが主な要因である。

問 実質収支は30年連続黒字で健全財政との説明があり、新施設建設用地を購入した。財政調整基金は平成32年には約8億円となり枯渇するとの予測だが、甘い財政見直しへの責任は。

答 新規事業は27億円の範囲内とする中で一定の財政規律の保持に努め、公債

【性的マイノリティ】 市民の中に賛否意見

【行財政改革】 平成30年度までの財源不足額は、昨年10月の財政見直しでは約12億円であったのが、本年2月では約45億円に膨れ上がっている。その理由は。

答 昨年には見込んでいなかった病院事業、国保事業や下水道事業の収支状況が明らかとなり、市の財政支援の方針を決定したことが主な要因である。

問 実質収支は30年連続黒字で健全財政との説明があり、新施設建設用地を購入した。財政調整基金は平成32年には約8億円となり枯渇するとの予測だが、甘い財政見直しへの責任は。

の多い問題であり、まずは丁寧な議論や市民アンケートなどを実施すべきでは。

問 福岡市では市が全額を負担しスタートアップカフェをオープン。1年間で1600件の相談が寄せられ、ここ数年で40社が起業を果たしている。お金を投入しないと結果は出ない。積極的な支援が必要では。

答 行政で対応できない市民の要望にビジネスの手法でサービス提供するもの。本市にあったビジネスを研究し、育成に取り組みたい。

【ソーシャルビジネス】

問 福岡市では市が全額を負担しスタートアップカフェをオープン。1年間で1600件の相談が寄せられ、ここ数年で40社が起業を果たしている。お金を投入しないと結果は出ない。積極的な支援が必要では。

答 行政で対応できない市民の要望にビジネスの手法でサービス提供するもの。本市にあったビジネスを研究し、育成に取り組みたい。

【性的マイノリティ】 市民の中に賛否意見

【行財政改革】 平成30年度までの財源不足額は、昨年10月の財政見直しでは約12億円であったのが、本年2月では約45億円に膨れ上がっている。その理由は。

答 昨年には見込んでいなかった病院事業、国保事業や下水道事業の収支状況が明らかとなり、市の財政支援の方針を決定したことが主な要因である。

問 実質収支は30年連続黒字で健全財政との説明があり、新施設建設用地を購入した。財政調整基金は平成32年には約8億円となり枯渇するとの予測だが、甘い財政見直しへの責任は。

答 新規事業は27億円の範囲内とする中で一定の財政規律の保持に努め、公債

【性的マイノリティ】 市民の中に賛否意見

【行財政改革】 平成30年度までの財源不足額は、昨年10月の財政見直しでは約12億円であったのが、本年2月では約45億円に膨れ上がっている。その理由は。

答 昨年には見込んでいなかった病院事業、国保事業や下水道事業の収支状況が明らかとなり、市の財政支援の方針を決定したことが主な要因である。

公共施設の保有量の適正化は 統廃合には市民の理解が必要

自民党議員団

山本 敬子

模範など、課題の大きな学校の中から優先して取り組む予定。

【宝塚市消防サポート隊】

問 新中央公民館に200人規模のホールを作る計画だが、市民から要望のある1500人規模の市民ホールの設置を考えていく予定はないか。

答 現在、本市には公立で500人以上を収容できるホールがない状態で、設置要望があることは十分認識しているが、高額な設置費用や管理費用が必要となり、現財政状況では困難。当面は近隣の市のホール使用について工夫していきたい。

問 宝塚自然の家を休止することだが、この施設は地域住民を雇用しており、地域住民は事前に話もなく急に休止を決定したことについて、教育委員会に対し不信感を抱いているが。

答 10月末に地元で説明した際にも、地域にある施設であるのに地元協議が遅れたとの指摘を受けた。利用者等に迷惑がからないうよう、施設長には平成27年度の初めごろに方針は説明していた。

意見 今後もしっかりと

【新ごみ処理施設の整備】

問 他市のクリーンセンターでは5キロワット以上の発電をし、売電も行っている。本市の新ごみ処理施設でも発電する計画か。

答 発電はごみ焼却時の熱エネルギーの有効活用として優れた方法と認識。施設の内容は、基本計画検討委員会で検討していきたい。

【教育・子ども・人権】

問 過大規模校や過小規模校が顕著に現れてきたが、市立小・中学校、幼稚園の適正規模及び適正配置の取り組みは。

答 適正規模・適正配置に関する基本方針に基づき、まずは過大規模校や過小規

【性的マイノリティ】 市民の中に賛否意見

【行財政改革】 平成30年度までの財源不足額は、昨年10月の財政見直しでは約12億円であったのが、本年2月では約45億円に膨れ上がっている。その理由は。

答 昨年には見込んでいなかった病院事業、国保事業や下水道事業の収支状況が明らかとなり、市の財政支援の方針を決定したことが主な要因である。

問 実質収支は30年連続黒字で健全財政との説明があり、新施設建設用地を購入した。財政調整基金は平成32年には約8億円となり枯渇するとの予測だが、甘い財政見直しへの責任は。



公共施設の総量抑制を

かねてから課題と認識

公明党議員団
江原 和明

問 まずは公共施設を増やさないという視点で計画を策定し、3年間の集中的な行革の取り組みを行い、その後も継続していく。

【宝塚市教育大綱】

問 新たに策定した教育大綱の中に、市立幼稚園が子育ての支援センターとしての役割を果たすところがあるが、具体的にどういうことか。

答 預かり保育や子育て相談などで積極的な子育て支援を行い、地域で幼児教育のセンター的な役割を果たそうということである。

問 地域人材を活用した家庭教育支援チームを国は推進し、手を挙げた自治体に県から予算を委託する仕組みに変わった。地域の人たちが家庭教育に悩む人のところへ行き、地域の中で家庭教育を含め教育環境を作っていくもので、本市も早期に取り組むべきでは。

答 先日、県から委託について案内があった。積極的に調査研究していきたい。

【小・中学校の適正規模】

問 公共施設の中で、一番ポリウムがあるのが教育施設。校区の見直しは早急にすべき。今回パブリック

コメントを実施したが、今後どうしていくのか。

答 校区における児童推計ができるのは大体5年先まで。今回基本方針をつくったが、5年程度でその都度見直していく必要があると考えている。

【学校給食の公会計化】

問 新年度から公会計化となる。具体的内容、学校給食費調整基金との関係は。

答 学校給食費の透明化と学校現場における事務負担軽減のため、今年4月から市が直接保護者から学校給食費を徴収し、給食用物資の発注と納入業者への支払いを行う。また、給食用物資は価格が変動するため、決算時の剰余金を基金に積み立てることで安定した学校給食の提供を可能にする。



宝塚 花の里・西谷とは

西谷特産品地域ブランド化

日本共産党宝塚市議員団
たぶち 静子

添えていない現実がある。しっかり受け止め、対応を。

【地域児童育成会の入所】

問 平成28年度から小学校6年生まで拡大するのは大きな前進。一方、夏休みや勤務時間が午後2時30分までの保護者の利用も検討していくとの答弁が以前あった。その後の検討は。

答 喫緊の課題に取り組んでおり、具体的な検討に至っていない。待機児童解消が一段落した後、可能性を研究していきたい。

【憲法9条を守る】

問 国は安保法制を廃止し、集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回すべき。市長の見解は。

答 人権が尊重される社会であることが市民生活に最も重要なことであり、平和はその礎。集団的自衛権の行使等は憲法理念と相入れないと認識しており、今後も憲法の平和精神にのっとり、平和な社会づくりのための事業実施に取り組む。

【西谷地域の活性化】

問 地域ブランド「宝塚花の里・西谷」の内容は。

答 新名神高速道路のサービスエリア開業を見据え、

商工会議所の支援を受けた9団体がそれぞれ西谷産物を使用したスイーツやダリアの花すしなどの特産品開発を進め、地域ブランドとして商標登録するもの。今後は運営団体の立ち上げや販路・商品開拓等のほか、観光誘客にも生かせる花の里づくりにも取り組む。

【防災行政無線の整備】

問 市民に早急に災害を知らせることが、市民の命と財産を守る第一の観点だが、整備状況は。

答 平成28年度に市庁舎に親局の設備と屋外拡声器を整備する。移動系無線機器は平成28年度から2年間で防災拠点となる公共施設を中心に整備し、その他の屋外拡声器は平成29年度から3年かけて順次整備する。



地域児童育成会の定員増は

子どもを第一に考え検討する

ともに生きる市民の会

梶川 みさお

的な計画は。
答 広報たからづか4月号の特集記事を掲載。啓発用パンフレットを配布するほか、民間事業者や自治会、民生委員など関係者を対象に説明会を開催、法の周知に努める。

ため、長尾南小学校区の民間施設での受け入れとした。
問 今後、山手台小学校の敷地に建設する育成会棟は、直営と民営が混在。なぜすべて直営としないのか。
答 市の行財政改革全体のバランスで考え、直営の定員は80人としている。

問 市が決めた定員なら変更は可能。直営と民間の支援員の連携には限界があり、兄弟が別々の育成会となるなど問題も。子ども、保護者、支援員の思いを考へて変更できないのか。
答 子どもを第一に考えて進めていくことは理解しており、十分検討していく。

意見 福祉、教育、子育ての充実には人材確保が第一。財政厳しい折だが、必要な人員配置を。

問 山手台小学校の待機児童を2校区離れた長尾南小学校区にある民間放課後児童クラブで受け入れるようだが、現地までの送迎や渋滞による遅延、保護者の送迎時の駐車場確保など課題も多い。走り回れる園庭もない。他の方策は検討しなかったのか。
答 中山五月台小学校でも検討したが、対応困難な

【宝塚市の人事管理】

問 人事管理とは、必要な部署に必要な職員を配置し、しっかりと行政事務ができる組織体制を築くこと。昨年から続く事務処理ミスも、原因は不十分な組織体制と考える。職員労働組合が賃金引き下げについて苦渋の合意をしたのも、人員確保が前提であり、平成28年4月時点で市全体の増員が6人とは少なすぎる。行政運営に支障はないのか。
答 厳しい職場環境にある部署もあると認識しており、職員増員の要望は多いと強く感じている。一気にとはいかないが、取り組んでいくようにしたい。

【放課後児童健全育成事業】
問 施政方針では、各小学校区のニーズに対応した定員確保策を講じるとある。保護者のニーズは、市直営の地域児童育成会の定員数増と考えるが、市の見解は。
答 定員80人を超えて運営する場合、民営の方が市の負担が少なくなるが、直営で行うことにより事業の質の維持を図っており、両者のバランスをとりながら一層の質の向上に努める。

問 市が決められた定員なら変更は可能。直営と民間の支援員の連携には限界があり、兄弟が別々の育成会となるなど問題も。子ども、保護者、支援員の思いを考へて変更できないのか。
答 子どもを第一に考えて進めていくことは理解しており、十分検討していく。

意見 福祉、教育、子育ての充実には人材確保が第一。財政厳しい折だが、必要な人員配置を。

問 市立幼稚園のPTAから3年保育を求めると要望書が提出されたと聞く。また、平成26年度には幼稚園教育審議会から環境の整った園から3歳児保育実施に

取り組むべきとの答申が出されているが、市の考えは。
答 私立幼稚園との調整や保育充実に向けた研修体制の整備などの課題を整理しながら進めていきたい。
意見 10年前に私立園とは調整済。既に3年保育が標準になってきている。積極的に推進し、早期実施を。

【福祉施策】

公立幼稚園の3年保育は

課題を整理しながら進める

市民ネット宝塚

寺本 早苗

問 本市が取り組む障がい者差別解消条例案と手話言語条例案の特徴は。
答 本市の障がい者差別解消条例案では市民啓発に力を入れ、個人が行った差別に対する相談にも対応するとともに、民間事業者の合理的配慮の提供を義務化した。また、手話言語条例案では手話が言語であることを明確にし、理解や普及に努め、手話によるコミュニケーションができる環境づくりを推進したい。

問 歌劇の門前町である花のみちから宝塚ガーデンフィールズ跡地までの一体的な整備は行われるのか。
答 観光プロムナードと各施設の双方向に人々をいざなう仕掛けが重要になる。エリア一帯が盛り上がるよう、取り組みたい。

【がん治療センター】

問 新設されるがん治療センターとは。
答 治療を行いつつ生活する患者が増加。放射線治療は体への負担が少なく、化学療法とがん相談機能を持つ同センターはがん医療の拠点になるものと考えている。

意見 観光資源がもう多くはない。歴史や文化からその芸術面を発信すべき。今後、宝塚ホテルの移転によって宝塚らしい景観が失われるかもしれない。時機を逸することなく文化資産の保全に取り組んでほしい。

問 コンセプトや運営面でめざすところは。
答 従来からの基本コンセプトは出会いのスペース。公民館の役割として市民の学習成果が地域活動や現代的課題の解決に生かされるよう、企画・運営していく。

また、市民が出会い、交流して新たな活動が生まれるようコーディネート機能を強化した施設をめざしたい。

【新中央公民館】

問 宝塚ガーデンフィールズ跡地の事業が実施設計に入る。全体のプロデュースの存在が不可欠だが、答 企画や事業検討では学芸員のノウハウが必要。人材の早期確保に努めたい。

問 宝塚ガーデンフィールズ跡地の事業が実施設計に入る。全体のプロデュースの存在が不可欠だが、答 企画や事業検討では学芸員のノウハウが必要。人材の早期確保に努めたい。

【3歳児保育】

問 市立幼稚園のPTAから3年保育を求めると要望書が提出されたと聞く。また、平成26年度には幼稚園教育審議会から環境の整った園から3歳児保育実施に

また、市民が出会い、交流して新たな活動が生まれるようコーディネート機能を強化した施設をめざしたい。

また、市民が出会い、交流して新たな活動が生まれるようコーディネート機能を強化した施設をめざしたい。

また、市民が出会い、交流して新たな活動が生まれるようコーディネート機能を強化した施設をめざしたい。

また、市民が出会い、交流して新たな活動が生まれるようコーディネート機能を強化した施設をめざしたい。

【観光・文化】

問 宝塚ガーデンフィールズ跡地の事業が実施設計に入る。全体のプロデュースの存在が不可欠だが、答 企画や事業検討では学芸員のノウハウが必要。人材の早期確保に努めたい。

また、市民が出会い、交流して新たな活動が生まれるようコーディネート機能を強化した施設をめざしたい。



今年が行財政健全化元年では

健全な財政基盤確立をめざす

安全で誇れる宝塚をつくる会

北山 照昭

【平成28年度当初予算編成について】

問 比較的言葉が少ない施政方針であったが、改めて市長みずからの市政運営の姿勢を聞かせて欲しい。

答 平成28年度は、輝ける未来の宝塚へ向かう躍動元年として、市民と歩んでいきたい。一方で現在、財政構造の硬直化が懸念される厳しい状況であることも認識しており、行財政改革についても着実に取り組む。平成28年度から30年度までで約34億円6300万円の財源が不足する見込みとされているが、予算編成にどの様に反映したのか。

答 当初予算の編成に当たっては、現行の行財政運営に関する指針及びアクションプランに掲げた事務事業の見直し、定員・給与の適正化等に取り組んでおり、引き続きその取り組み内容を反映している。

問 平成21年度以後、新規施策は約230事業、廃止は8事業、そして国保、下水道、病院等の課題を先送りしてきた結果として今日の厳しい行財政運営を招いていると考えるが、市長の見解、認識はどうか。

答 新たな事業を行う際には国や県の補助金の確保のほか、既存事業の廃止、縮小、進度調整等により財源の確保に努める。また、これまでの課題については国保事業費の累積赤字の解消、病院事業への貸付け、下水道事業への財政支援等に取り組む、課題を先送りせず対応していく。

意見 スクラップ・アンド・ビルドの指針が明文化された初年度に関わらず、生かされなかったのは非常に残念。行財政運営に関する重点取組項目は必ずやり切るように努力すべき。

【上下水道事業について】

問 下水道使用料の大幅値上げ及び3年後のさらなる値上げの検討とはどうい

うことか。

答 平成27年3月25日付けの上下水道事業審議会の答申を踏まえ、試算では36%程度の引き上げが必要だが、使用者の負担を考慮して平成28年度以降の平均改定率を18・5%程度とし、平成30年度以降さらなる引き上げについて慎重に検討する考えである。

問 上下水道事業にとって、経営改革の中で最大の鍵は、金額的なウエイトからも浄水場の業務委託と考えるが、取り組まないのか。

答 惣川及び小浜浄水場については、平成30年度の小林浄水場廃止後できるだけ早期に、まずは夜間の運転管理業務の委託に向けて労働組合と協議を進めていきたいと考えている。



議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議や委員会是一般に公開されており、受付簿に氏名などをご記入いただくだけで、どなたでも傍聴いただけます。

次の6月定例会の日程は16面のとおりです。議員の活動や市政の動向等を知る機会ですので、ぜひ傍聴にお越しいただき、議会を生成じてみませんか。

■本会議場
受付は市庁舎4階です。傍聴席は84席(内、車いす

席2席、磁気ループ席26席。介助犬の同伴も可能です。

■委員会室
受付は市庁舎3階の議会事務局です。傍聴席は10席程度。満席の場合は、音声情報のみを提供している別室にご案内することがあります。

■手話通訳・要約筆記
手話通訳者や要約筆記者の介助を希望される場合は、「宝塚市(手話通訳者・要約筆記者)派遣申込書」を

障害福祉課へFAXしていただくか、もしくは窓口へお申し出ください。
TEL 0797-7712077
FAX 0797-7218086



請願・陳情を提出できます

市の行政等については要望や意見のあるときは、誰でも市議会に請願や陳情を行うことができます。年齢や市民であるかを問わず、法人や団体でも可能です。

◆提出の手続きは
請願や陳情は、議長あてに提出します。請願は1人以上の紹介議員の署名が必要ですが、署名のない要望等は陳情として取り扱います。

◆提出の期限は
請願や郵送以外の陳情は、

年4回開催される定例市議会での審査されます。いつでも提出できますが、時期により審査される定例会が異なります。

◆審査の取り扱いは
請願の審査は、本会議の場で、所管する委員会に付託されます。委員会では、その内容を審査し、妥当であると判断した場合は採択、そうでないと判断した場合は不採択とします。委員

長は、その後に開催される

本会議で委員会での審査結果を報告し、本会議で最終の適否を議決します。議会は、本会議で採択した請願を、市長等関係機関に送付し、その後の取組経過や結果について説明を求め、その実現を要望します。

陳情の審査は、直接所管する委員会で行われ、採択又は不採択等を決定し、その意思を示すにとどめていきます。本会議での報告や議決、市長等関係機関への送付等は行っていません。

詳しくは議事調査課へ。
TEL 0797-7712168

3月定例会の議案審議から

3月定例会では、市長から提案された議案や、市民の皆さまから提出された請願など計75件について審議しました。

提出された議案は一部を除き、予算特別委員会と3つの常任委員会(総務・文教生活・産業建設)に付託し、慎重に審査しました。

ここでは、常任委員会で審査された主な議案を報告します。

鎮魂之碑の形を変えてまでの移設に反対！

賛成多数
修正可決

平成27年度宝塚市一般会計補正予算(第5号)

概要 歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億9,200万円増額し、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ748億3,603万8千円とするもの。

主な質疑 審査では、はんしん あわじ だいしんさい ぎせいしゃついついとうじぎょう ついとうのひせいびこうじひ 阪神・淡路大震災犠牲者追悼事業の追悼之碑整備工事費が増額計上されたことに質疑が集中しました。当初計画では、ちんこんのひ 鎮魂之碑は現状の形で移設し、その台座の大部分は移設しないとしていましたが、事業を進める中で台座も鎮魂之碑のコンセプト上、重要との意見が寄せられ、設計変更したため、増額になったもの。

その他の事業では、学校グラウンド整備工事や花屋敷グラウンドのアクセス道路、情報セキュリティ強化対策などに関して質疑がありました。

なお、議員から、鎮魂之碑の移設整備は必要性が乏しく、課題も多いとして、この整備事業等に関する部分を減額する旨の修正案が提案されました。審査の結果、修正案を賛成多数で可決し、この減額修正の部分を除く原案を全員一致で可決しました。

請願第8号 鎮魂之碑の移設中止についての請願(賛成多数・採択)

市民からも移設中止を求める請願が提出されました。

概要 鎮魂之碑は、当時、市内の団体がお遺族・行政関係者・工事業者の協力を仰ぎながら多額の資金を捻出してねんしゆつ こんりゆう 建立されたもの。後に市へ寄贈されたが、けいいい しんしゃく 経緯を斟酌すれば、遠い場所で市民が祈るには寂しいとの短絡的な理由で移設すべきではない。鎮魂之碑の移設計画の即刻中止を願う。



鎮魂之碑(ゆずり葉緑地)

◆本会議での各議員の賛否(賛成=○、反対=×) ※議長は表決に加わりません。

議員名	伊藤	浅谷	岩佐	大川	たけした	若江	山本	伊福	大河内	富川	江原	中野	藤岡	三宅	たぶち	田中	となき	みとみ	井上	大島	梶川	寺本	石倉	北野	北山	細川	
議案																											
補正予算	修正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	※	○	○	○
	残る原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	※	○	○	○	

全員一致
可決

平成28年度宝塚市病院事業会計予算

概要 収益的収支は380万6千円の黒字で、前年度比3億4,858万6千円の減。資本的収支は9億914万3千円の不足で、損益勘定留保資金、長期借入金で補てんする。放射線治療棟建設工事や無菌室整備事業などの施設改修事業、放射線治療装置や医療情報システム更新などの医療機器等購入を予定している。

主な質疑 中期事業計画2014に掲げた収支目標から差引約7億円のマイナスとなる要因、資金繰りの状況や医師の確保対策などについての質疑がありました。

全員一致
可決

学校給食に公会計方式を導入

概要 市立小・中学校及び特別支援学校で実施している学校給食に関し、市が直接学校給食費を徴収し物資購入を行う公会計方式を導入するため、及び物価変動に対応して安定的な給食用物資を確保する目的で基金を創設するため、条例を制定するもの。

主な質疑 保護者の給食費支払方法の変更手続き、公会計化への準備体制、滞納者に対する対応、食物アレルギーの安全対策などについて質疑がありました。

賛成多数
可決

国民健康保険税を増額改定

概要

改正前との比較	所得割税率(%)		平等割額 (円)		均等割額 (円)	
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
基礎課税分	6.4	6.8	21,100	21,600	24,500	25,500
後期高齢者支援金等課税分	2.4	2.7	6,400	7,300	8,900	10,300
介護納付金課税分	2.6	3.1	5,300	7,000	10,100	13,700

主な質疑 医療費抑制策や市民の負担増への市の見解などの質疑がありました。憲法の応能負担の原則に反する国保税の値上げには厳しく抗議するとの反対討論や、経営健全化プランに基づいた改定であり税率改定は仕方がないとの賛成討論がありました。

◆本会議での各議員の賛否(賛成=○、反対=×) ※議長は表決に加わりません。

伊藤	浅谷	岩佐	大川	たけした	若江	山本	伊福	大河内	富川	江原	中野	藤岡	三宅	たふち	田中	となき	みとみ	井上	大島	梶川	寺本	石倉	北野	北山	細川
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	※議長	○	○	○

下水道使用料の値上げをめぐる議論が白熱



平成28年度水道、下水道事業会計予算及び下水道条例の一部改正

水道・下水道予算の概要 水道事業会計の収益的収支は9,474万円の黒字。資本的収支は24億6,067万円の不足で、損益勘定留保資金等で補てん。下水道事業会計の収益的収支は3億2,128万9千円余の黒字。資本的収支は16億8,028万1千円の不足で、損益勘定留保資金等で補てん。

主な審議内容 水道事業会計は、資金残高が減少していく経営予測であるが、将来的に水道料金の値上げはあるか確認したところ、平成37年度以降に予測より資金残高が下回った場合、値上げの検討も必要となるが、効率化の徹底等企業努力が前提であるとのことでした。

また、下水道事業会計では、今回の下水道使用料の値上げとあわせ、企業努力は当然のこと、一般会計からの財政支援として平成30年度までの3年間で2億1千万円の繰入金増額を行うとのことでした。

下水道条例改正の概要 持続的かつ安定的にサービスを提供するため、企業経営努力に加え、必要最小限の改定として、公衆浴場の営業に伴う汚水以外の汚水に係る下水道使用料を現行から平均約18.5パーセントの引き上げを行おうとするもの。

主な審議内容 値上げによる使用料収入の増額見込みや、経営改善策の民間委託が進んでいない現状などを質疑で明らかにしました。また、委員間の自由討議では、値上げしない場合はいつか破たんするといった意見や、値上げの必要性は理解するが、経営健全化の内容が精査されておらず納得できないといった意見などがありました。

討論では、浄水場職員の人件費の問題の指摘や、今回値上げを決める段階になっても十分な経営改善策が出されていないなどの反対意見、また値上げをこれ以上遅らせると全体的な行財政改革が遅れてしまうといった賛成意見などがありました。

審議結果 委員会では賛成少数で否決されましたが、本会議では、賛成多数で可決となりました。

◆本会議での各議員の賛否(賛成=○、反対=×) ※議長は表決に加わりません。

議員名	伊藤	浅谷	岩佐	大川	たけした	若江	山本	伊福	大河内	富川	江原	中野	藤岡	三宅	たぶち	田中	となき	みとみ	井上	大島	梶川	寺本	石倉	北野	北山	細川
水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道条例一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



特別職の職員の給与に関する条例等を一部改正

概要 国の特別職の職員の給与に関する法律の改正に準じて、特別職の職員の期末手当の支給月数を改定するとともに、今後3年間で生じる財源不足への対策として、特別職の給与などを減じることに伴い、宝塚市特別職の職員の給与に関する条例など3条例について所要の整備を行うため、各条例を一部改正しようとするもの。

一般職の職員の給与に関する条例を一部改正

概要 平成27年人事院勧告に基づく一般職の職員給与の改定、及び地方公務員法の改正に伴う所要の整備を行うとともに、特別職の職員給与等と同様に今後3年間で生じる財源不足への対策として、一般職の職員の給与を削減する措置に取り組むため、条例を一部改正しようとするもの。



請願

3月定例会では、3件の請願が提出されました。採択された2件の請願の概要は、次のとおりです。

請願第8号

鎮魂之碑の移設中止についての請願

9面に記載のとおり
(採択・賛成多数)

請願第9号

放課後児童クラブにおける子どもの安心・安全な環境整備に関する請願(概要)
校区に関わらず、すべての親が安心して働ける環境をつくるため、子どもたちが不安を抱えることなく安心して放課後を過ごせる環境を整えていただきたい。
(採択・全員一致)



なお、請願第10号「米軍基地のための辺野古沖埋め立て工事について貴市議会による地方自治の尊重を求める意見書採択と提出に関する請願」は、賛成少数で不採択となりました。

会派名	新風改革・維新の会					自民党団			公明党団			日本共産党宝塚市会議員団		と生みの会		市民ネット宝塚		安全で誇れる宝塚をつくる会								
議員名	伊藤順一	浅谷重紀	岩佐将志	大川裕之	たけした正彦	若江まさし	山本敬子	伊福義治	大河内茂太	富川晃太郎	江原和明	中野正	藤岡和枝	三宅浩二	たぶち静子	田中こう	となき正勝	みとみ稔之	井上聖	大島淡紅子	梶川みさお	寺本早苗	石倉加代子	北野聡子	北山照昭	細川知子
請願第10号 不採択(賛成少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	※議長	○	○	×

※過半数議決の場合、議員には賛成・反対の表決権がありますが、議長には表決権がありません。ただし、表決において賛成・反対が同数、つまり「可否同数」になった場合、議長には可決か否決かを決定する裁決権が認められています。

意見書

3月定例会では2件の意見書を全員一致で可決し、関係機関へ送付しました。

意見書名	送付先
地方公会計の整備促進に係る意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣
児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家公安委員会委員長

その他の賛否が全員一致した議案等

平成27年度宝塚市一般会計補正予算(第4号)	可 決	
平成27年度宝塚市一般会計補正予算(第6号)		
平成27年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第4号)		
平成27年度宝塚市特別会計農業共済事業費補正予算(第3号)		
平成27年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算(第4号)		
平成27年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算(第2号)		
平成27年度宝塚市特別会計川面財産区補正予算(第1号)		
平成27年度宝塚市病院事業会計補正予算(第3号)		
平成27年度宝塚市病院事業会計補正予算(第4号)		
執行機関の附属機関設置に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市市税条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市行政不服審査会条例の制定について		
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		
宝塚市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市職員の退職管理に関する条例の制定について		
宝塚市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市建築事務及び住宅事務手数料条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について		
公の施設(宝塚市立宝塚園芸振興センター)の指定管理者の指定について		
公の施設(宝塚市立農業振興施設)の指定管理者の指定について		
公の施設(宝塚市立長谷牡丹園)の指定管理者の指定について		
市道路線の認定について(8件)		
市道路線の認定変更について(3件)		
農作物共済に係る無事戻しについて		
宝塚市の議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市監査委員の選任につき同意を求めることについて		
宝塚市公平委員会の委員選任につき同意を求めることについて		
宝塚市固定資産評価審査委員会の委員選任につき同意を求めることについて(3件)		
人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて(3件)		
		同 意
		適 任



議場コンサートは満席
 岩谷時子さん
 生誕100年によせて
 3月定例会の初日にあたる2月16日、本会議開会前に開催しました。
 今回は、宝塚にゆかりの深い作家・岩谷時子さん生誕100年をテーマとしました。
 ご出演は、山本朝子さんとクラリネット伴奏の広瀬汀(みぎわ)さん、そして急きょ出演者変更となり代役を務めていただいた麻樹ゆめみさん。



左から麻樹ゆめみさん、山本朝子さん、広瀬汀さん

短い時間でしたが、シャンソン、ミュージカル、歌謡曲など幅広いジャンルにわたる岩谷時子さんの歌の世界を、満席の皆様にお楽しみいただきました。



議員研修会を実施
 人権の諸問題を考える
 2月1日、議員全26名が参加し、「人権の諸問題―最近の事例から―」と題して、人権研修を実施しました。
 講師に宝塚市人権審議会副会長の宮前千雅子さんを招き、近年に問題となつていくさまざまな人権課題について、具体的な事例に基づき幅広く考えました。
 テーマは、部落問題、女性問題、障がい者問題、ヘイトスピーチ、性的少数者などが取り上げられ、差別しないためには、何もしないのではなく、他者を尊重する姿勢が重要であることなど、人権問題について改めて認識を深める機会となりました。

第3回意見交換会を開催しました

2月13日に第3回の意見交換会を開催しました。多数ご参加いただき、ありがとうございました。

3回目は、各常任委員会のメンバーで3つのグループに分かれて、各委員会に関連のあるテーマについて市民の皆さまと意見交換を行いました。その概要は次のとおりです。

参加者
市民発言者 12人
生駒由香里さん
井上志音さん
大場まり子さん
奥田徳子さん
木下まりかさん
黒田勇司さん
田中章子さん
戸川 進さん

中川慶子さん
西風直美さん
春原千夏さん
山本敏晴さん
(50音順)
傍聴者 53人
市議会議員 26人



※報告は、当日参加した議員が交代で記録した内容を元に作成しています。

子育てしやすい宝塚にするために

市民 子育て中でも仕事したい。多様な働き方の一つとして、女性の起業をサポートしてほしい。

議員 本市には100以上のNPO団体があり、起業

に関して活発である。市民 市でも多くのよい施策を実施しているが、市民に届ける工夫が欲しい。

市民 寺子屋事業を実施していることは評価するが、実施することが目的となっていないのではないかと

体的に動くことに期待している。寺子屋事業だけでなく、子ども支援・教育支援を全体で行っていくことが求められる。

市民 地域でどのように子どもの心を育んでいくかというコンセプトに立ち返り、検討して進めてほしい。

市民 地域でどのようの子どもの心をつくるかという理由で私立幼稚園を選ぶ人が多く、公立幼稚園の応募が減少。異年齢交流を望

む人も多いので、公立幼稚園で3年保育を実施しては。議員 平成29年の実施に向け、議論が進んでいるが、財政面など課題は多い。

市民 資格があるのに保育士をしていない人もいる。そういう人材を生かせる場所があればいいと思うが。

議員 潜在保育士への働きかけとしてセミナーを開催しているが、参加者が少ない。広報不足かもしれない。

市民 高齢者が集中している地域に関しての、行政のフォロー体制は。

議員 民生委員を中心に、自治会、行政との連携や要援護者支援チームによる日常的なフォローや災害時の対応ができるよう進められている。

市民 本当に支援を必要とする人は自ら手を挙げられない人が多い。年金や公費の受給など行政が持つデータ等を利用してセーフティネットを作れないか。

議員 高齢者世帯や障がいのある方など要支援者の把握は、自治会やまちづくり協議会等で取り組む地区防災計画の最上位課題。しっかりと取り組んでいきたい。

市民 以前、行財政改革推進委員会で学校給食民間委託の議論があった。給食調理員等の給与引き下げは現

在どうなっているのか。議員 適正化というのは難しい問題。低い給与にあわせるのが適正化となるのかどうか。

市民 民間委託すべきだと思うが。

議員 人件費が本市に与え

る影響が大きいのは確か。これまで人員削減で対応してきたが、ミスが増えるなど削減することがいいのかは疑問。民間委託すべきとの審議会の答申も出ているが、本市は委託しないとしている。理由は学校給食が災害時の炊き出し拠点となる等である。

市民 行革とは知恵を絞って進めること。民間委託は

きではないか。議員 新たに検討する場がスタートすることとなった。適正規模校は3分の1しかない。検討が必要である。

市民 宝塚はいいところだ

と云われる。本当のブランドを作ってほしい。

市民 観光施策を見直して、人を呼べるまちづくりを。

足りない。現状では自己負担で去勢手術を行い、年間20万円ほど負担している人もいる。

議員 以前地域猫活動をしたが、なかなか賛同者はいなかった。まちづくり協議会等にも話をし、適切なルールをつくれればできると思う。

市民 正しい知識を教えることで、安易に餌を与えてしまったという人を正しい方向に導くことができる。

宝塚の環境とごみ行政について

市民 新ごみ処理施設整備基本構想には概ね賛成。新施設の整備用地選定には客観性、公平性、妥当性が求められる。選定プロセスを情報公開していただきたい。

市民 まち全体を考えて用地選定すべき。その後で何



ができるか考えるべきだ。市民 地球温暖化問題は既に崖っぷちまできており、市民レベルで真剣に取り組まなくてはならない。生ごみは焼却ではなく液肥を作

って利用するなど小さなことから取り組む必要がある。議員 部局間連携し、ごみの堆肥化ができれば環境に

よいと思う。市民 行政で生ごみ処理のシステム構築を願う。市民は頑張っている。

市民 エネルギービジョン2050に基づき電気、熱

第4回意見交換会 市民発言者募集

●開催日時とテーマ
平成28年8月28日(日)

●第1部 長寿社会に向けた健康づくりについて(スポーツ、食育、疾病予防など)

●第2部 観光・商工について

●第3部 行財政改革について(N・T・N(株)宝塚製作所

跡地、宝塚ガーデンフィールズ跡地、公園用地など)

●開催場所
男女共同参画センター

●応募資格
市内在住・在勤または在学

●募集人数
テーマごとに3名程度

●申込方法
発言申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、電子メールまたはご持参によりお申し込みください。

●申込期限
平成28年8月5日(金)必着

●問い合わせ・申し込み先
議会事務局議事調査課

●お問い合わせ・申し込み先
議会事務局議事調査課



行財政改革について

議会報告会

議会報告会は、宝塚市議会基本条例に基づき、直接議員が報告を行う形で平成23年6月定例会の報告からスタートしました。もうすぐ5年が経ちます。ご参加いただいた皆さまからは、議案の審議内容や議会のあり方などに対し、毎回、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

平成28年度は、年4回、定例会ごとに開催します。今回は、3月定例会での議決結果や当初予算の審査の概要などを報告する予定です。

開催日時は次のとおりです。ぜひお越しください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

3月定例会の報告

日時・会場
 日 5月14日(土)
 時 午前10時～正午
 西公民館 3階
 セミナー室
 小林2丁目7-30

会派構成

8月28日(日)に第4回意見交換会を開催します。今回のテーマは3つ、①長寿社会に向けた健康づくりについて(スポーツ、食育、疾病予防など)、②観光・商工について、③行財政改革について(NTN(株)宝塚製作所跡地、宝塚ガーデンフィールズ跡地、公園用地など)です。

第4回 発言者募集!! 意見交換会

市議会議員と意見交換をする市民発言者を募集します。ぜひご応募ください。詳細は本誌15面(この裏)に掲載しています。

また、誌面では意見交換会の概要しか報告できませんが、意見交換会ではさまざまな意見が交わされています。一度会場に足を運びください。

手話通訳、要約筆記、一時保育が必要な方は、8月15日までにお知らせください。

編集後記

一部変更がありました。新しい会派構成は、次のとおりです。

自民党議員団	◎山本敬子、伊福義治、大河内茂太、富川晃太郎
公明党議員団	◎江原和明、中野 正、藤岡和枝、三宅浩二
日本共産党宝塚市議員団	◎たぶち静子、田中こう、となき正勝、みとみ稔之
ともに生きる市民の会	◎井上 聖、大島淡紅子、梶川みさお
市民ネット宝塚	◎寺本早苗、石倉加代子、北野聡子
新風改革の会	◎大川裕之、浅谷亜紀、伊藤順一
維新の会・宝塚議員団	◎岩佐将志、たけした正彦、若江まさし
安全で誇れる宝塚をつくる会	◎北山照昭、細川知子

6月定例会の日程

6月						5月									
24日	23日	22日	17日	16日	15日	14日	13日	3日	2日	1日	31日	30日	27日	26日	24日
金	木	水	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	火
本会議(予備日)	本会議	議会運営委員会	一般質問(予備日)		一般質問		議会運営委員会	常任委員会②(予備日)		常任委員会②			常任委員会①		本会議

市議会の情報を発信しています

◆インターネット
 市議会ホームページでは、会議日程や議案審査の結果、本会議の映像(インターネット中継・録画配信)等をご覧いただけます。

本会議や委員会の会議録検索もできます。

◆Facebook
 本会議や委員会の開催日程のほか、議会報告会や意見交換会など市議会主催イベントの情報などをお知らせしています。

◆FM宝塚 83.5MHz
 毎週2回(月・木)11時55分から5分間、市議会のお話をお届けしています。

各議員の一般質問(録音)や、議長インタビューなども放送しています。放送予定は、市議会ホームページでご確認ください。

宝塚市議会 🔍 で検索

編集後記

◆委員長に就任して、「かけはし」や議会報告会・意見交換会が市民のみならず、にわかりやすさで1cmでも近づき、内容の充実が1歩でも前進できればと心掛けて参りました。

また、厳しいお言葉も頂戴し、次期改善に向けて取り組み覚悟です。(大島)

◆超高齢化時代を迎え、本市においても社会保障費等の圧迫により、財政状況が益々厳しくなってきました。この度、平成28年度予算特別委員会が開かれましたが、予算が史上最大規模に膨れ上がってしまいました。より一層気を引き締め、チェックしてまいります。(岩佐)



広報広聴委員会委員 (◎委員長○副委員長)
 左から大川裕之、寺本早苗、大河内茂太、◎大島淡紅子、○岩佐将志、となき正勝、細川知子、三宅浩二

※次号は、平成28年8月1日発行予定です。

議会報「かけはし」は、すべての世帯と事業所のポストに宅配でお届けしています。発行日を過ぎても届かない場合は、下記のフリーダイヤルへご連絡ください。

最後までお読みいただきありがとうございます。誌面への意見や感想は、議会事務局までお気軽にお寄せください。

ジャパンメッセージサービス(株)
 フリーダイヤル
 0120-240-324
 (9時～19時まで)

宝塚市議会事務局
 宝塚市東洋町1番1号
 TEL 0797-77-2168(直通)
 FAX 0797-74-6902